

平成  
20年度

# 新規採用職員紹介

平成20年4月1日付けで役場に4名の職員が採用されました。今後、町民の皆様と接する機会が数多くあると思いますのでご紹介いたします。



根本 明和

**\*所属** 福祉環境グループ

**\*住所** 広野町大字上浅見川

**\*抱負** ミスの無い様に仕事をこなしていきたいです。

**\*自己紹介文**

はじめまして。福祉環境グループへ配属になりました根本明和です。  
本年度、4月1日から広野町

の職員として勤めています。役場の雰囲気にも少しずつではありますがありますが、慣れ始めました。

仕事の方は、西も東も何もわからないことばかりですが、精一杯努力し、一刻も早く仕事を覚えたいと思います。

そして、1日も早く町民の皆様のお役に立てるように、一生懸命頑張りたいと思っています。

至らない点や、未熟な点があるという目につくと思いますが、どうか寛い気持ちで応援よろしくお願いします。



新妻 有貴

**\*所属** 児童保育グループ

**\*住所** いわき市久ノ浜町

**\*抱負** 毎日子どもたちのカワイイ笑顔に囲まれながら仕事ができることを嬉しく思います。

地方公務員としての自覚を持って様々なことに努力をし、生活の中でたくさんの方の成長を学んでいきます。よろしくお願いいたします。

**\*自己紹介文**

私は何事に対しても最後まで諦めないという粘り強さがあります。自分でやりたいと思ったことには辛いことがあっても途中で投げ出したりはせず、学生の頃は部活動や習い事を続けてきました。続けてきたことで、根性を身につけることができたり自分の立場に責任を持つことやチームワークの大切さなどたくさん学んできたことを仕事面で活かし、これからのいろいろなことに積極的に取り組んでいこうと思っています。



木下 由香

**\*所属** 児童保育グループ

**\*住所** 広野町大字下浅見川

**\*抱負** 早く仕事に慣れて、常に目標を持ちながら頑張りたいと思っています。

**\*自己紹介文**

私は2年間いわき市の保育園で0歳児クラスを担当していました。1年目は何もかもが初めての

ことばかりで子どもたちとじっくり関わる事ができずに仕事を覚えることだけで終わってしまいました。2年目になると、仕事もある程度分かる様になり、子どもたちと毎日のしくすすすることができました。

今年度、広野町の職員としてまた1からのスタートとなり、1・2歳児混合クラスの担任として、他の保育士の先生方に迷惑をかけながら日々の仕事をしています。

何もかもが初めてやる物ばかりで日々悩みながらの仕事ですが、早く仕事に慣れて子どもたち1人1人とじっくり関わり、たのしく保育に育んでいければいいと思います。



鈴木 梨紗

**\*所属** 町民保健グループ

**\*住所** 広野町大字中央台

**\*抱負** 町民の一人でも多くの方々に、健康で生活していただけるようにがんばりたいです。みんなが笑って生活していける町になつたらステキだなと思います。

どうぞよろしく申し上げます。

**\*自己紹介文**

今まで看護師として仕事をしていて、具合がよくならず障害が

残ったり亡なっていく方をたくさん見てきました。基礎疾患には必ずと言っていいほど、高血圧、糖尿病などがあつた。同じ治療や手術をしても、治り方が全く違うため、私は「どうしてここまで悪くなる前にケアしなかったのか？」とよく思っていました。

体調不良と自覚してからではなく、予防の段階から関わることの大切さを改めて感じました。しかし、自覚がないところへの介入・意識づけはなかなか難しいことであり、今後どのように人と関わっていくかが自分自身の課題であると思っています。

保健師として新米であるため、いろいろな不安も多いですが少しずつでも前へ進めるよう努力していきたいと思っています。

# JFAアカデミー福島

田嶋スクールマスター（広野夢大使）



歓迎会の様子

## 3期生歓迎会を開催

JFAアカデミー福島 3期生歓迎会



JFA アカデミー 3 期生歓迎会が支援センターで行われ、アカデミー生、保護者、スタッフ、サポートファミリーが出席しました。

山田町長が歓迎のあいさつをし、来賓の坂本紀一 広野町議会議長が祝辞を述べました。

乾杯に先立ち、在校生によるマジックが披露され歓迎会を盛り上げました。

田嶋幸三スクールマスター（広野夢大使）のご発声により乾杯、歓談へと進みました。

はじめは緊張している様子だった 3 期生にも笑顔がこぼれ、参加者全員が楽しいひとときを過ごし交流を深めていました。

## 3期生が入校

世界で活躍する人材育成プログラム「JFA アカデミー福島」の入校式がJヴィレッジで行われ、男子 15 人、女子 6 人の 3 期生が出席しました。

式では、川淵三郎 JFA キャプテンが「大きな夢に向かって失敗を恐れずに取り組んでほしい。」とあいさつしました。内堀雅雄福島県副知事は「家族や周りの人に感謝する気持ちを持ってほしい、自分にできないことができるように日々努力してください。」と選手を励ました。その後、アカデミー 3 期生とスタッフの紹介に続いて、在校生の歓迎の言葉、最後に 3 期生の決意表明が行われました。

3 期生の男子 15 名は、在校生同様に広野中学校に通いながらサッカーや英語、コミュニケーションスキルなどを学ぶこととなっています。



入校式の様子

## 広野町サッカー場雨天練習場が完成



広野町サッカー場雨天練習場にて記念撮影

JFA アカデミー福島の練習場となる広野町サッカー場雨天練習場が完成し記念式典が開催されました。

山田町長がサッカーボールをキック、アカデミー生がゴールし完成を祝いました。

## 広野町サポートファミリー募集

平成 18 年度から親元を離れ、慣れない環境で生活をする「JFA アカデミー福島」の生徒を支援するサポートファミリーを組織して活動を行っております。今年度さらに 3 期生が参加することからサポートファミリーの拡大を図るため、左記内容により「広野町サポートファミリー」を募集いたしますのでご協力をお願いいたします。

### 募集内容

各学校や財団法人日本サッカー協会などと連携しながら、次に掲げる項目について募集します。

### (1) ホームステイ

家庭での宿泊及び食事の提供、送迎のための交通手段など（土曜日の午後 5 時から翌日の午後 5 時まで 2 人程度を受け入れ）

### (2) 地域交流

イベント及び農業体験、文化交流（茶道、華道等）参加のための指導や交通手段など

### (3) ボランティア

奉仕活動（花いっぱい運動、クリンアップ作戦等）参加のための指導や交通手段など

### (4) その他

サポートを必要とする事項で要望があったとき

### 応募資格

JFA アカデミー福島の理念とボランティア精

### 応募規定

サポートファミリーに応募を希望する方は、広野町サポートファミリー登録申請書（様式第 1 号）に必要事項を記入して申し込みください。  
※申請書は役場教育グループに常備してあります。

### お問い合わせ先

広野町教育委員会  
〒979-1040  
福島県双葉郡広野町大字  
下北迫字苗代 35  
☎ 0240-2714166  
FAX 0240-2714167  
URL: www.town.hirono.fukushima.jp  
E-mail: kyouiku@town.hirono.fukushima.jp